

全民連だより

ホームページアドレス <http://www.zenminren.gr.jp>

事務局

〒173-8501

東京都板橋区板橋二丁目66番1号

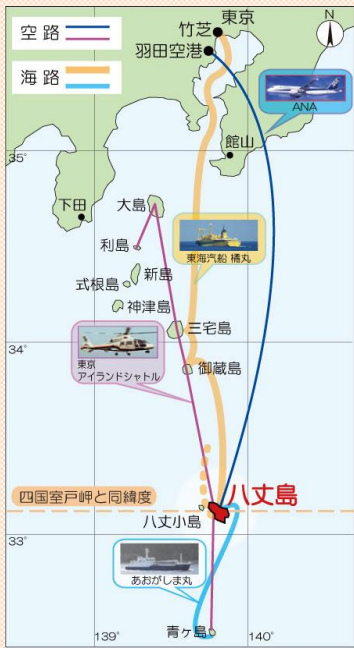
板橋区文化・国際交流課内

電話 03-3579-2018

FAX 03-3579-2166

東京都八丈町のご紹介

八丈島は、東京の南方海上二八七キロメートルに位置し、面積六九二平方キロメートルのひょうたん型をした島です。地形的には富士山帯に属する火山島であり、南東部を占める三原山(七〇〇メートル)と北西部を占める八丈富士(八五四メートル)から成り立っています。気候は、黒潮暖流の影響を受けた海洋性気候を呈し、平均気温十八度前後です。雨が多湿で、雨期は五月から十月までです。Aクラスの飛行機が、三便の往復が一日の所要時間で約五分です。



平成二十六年年度開催されました秋田県羽後町での総会において、第三十九回(平成二十七年)全民連総会を東京都八丈町で開催することを決定しました。

日程は下記のとおりです。現在、詳細な内容について八丈町の担当者様と協議中です。

一月の事前出欠調査につきましてはお協力いただき有難うございました。今回も全国各地の自治体からご参加いただく予定です。今回の調査でご欠席のお返事をいただいた自治体様も、五月に正式な出欠確認をさせていただきますのでご都合がございましたら是非ご出席いただきますようお願いいたします。お待ちしております。



極立の場踊り



極立の手踊り

第三十九回(平成二十七年)全民連総会
六月二十五日(木)・二十六日(金)
東京都八丈町で開催します

第63回 全国民俗芸能大会

民俗芸能 北から南から

～青年館最後の大会で神楽を満喫しませんか～

平成26年11月22日(土)、東京都新宿区の日本青年館大ホールにて第63回全日本民俗芸能大会(日本青年館と全民連の共催)が開催されました。出演した民俗芸能は以下のとおりです。

いずれの芸能もそれぞれ独特な味わいがありその土地の風土・人々の暮らしぶりを感じさせてくれました。

出演自治体の島根県海士町様には、全民連に加入していただきました。

○出演団体

- 「鶴岡八幡宮御神楽」神奈川県鎌倉市
- 「金山の稲沢番楽」山形県金山町
- 「駒ヶ嶽神社の太々神楽」長野県上松町
- 「隠岐島前神楽」島根県海士町

第39回全民連総会 in 八丈町

6月25日(木)

- 13:10 八丈島空港到着(ANA1893便)
- 13:30 空港出発→バスで八丈町役場へ
※別便等の方は空港出発時刻までに空港にお越しいただくか、会議開始前に直接八丈町役場へお越しください。
- 14:00 平成27年度第1回役員会(第1会議室)
- 15:00 第39回全民連総会(大会議室)
- 16:00 民俗芸能鑑賞(多目的ホールおじゃれ)
- 17:30 宿泊先ホテルチェックイン
- 18:00 情報交換会(宿泊先ホテル)

6月26日(金)

- 9:00 町内視察
 - ・歴史民俗資料館
 - ・服部屋敷
 - ・黄八丈ゆめ工房
- 12:00 昼食
- 13:00 解散
昼食後バスで空港へ
- 13:30 八丈島空港到着
- 14:20 八丈島空港出発(ANA1894便)
- 15:15 羽田空港着

平成二十六年度役員会報告

平成二十六年十一月二十二日、日本青年館(東京都新宿区)にて平成二十六年度第二回全民連役員会を開催し、平成二十六年度事業経過報告並びに今後の事業等について協議しました。

一 平成二十六年度事業経過報告及び今後の予定事業について

- ①第三十八回総会及び第一回役員会が秋田県羽後町で開催され、民俗芸能(西馬音内盆踊り)見学、施設見学、講演会を含め、盛会裏に終了した。
- ②平成二十六年度会費納入状況
十一月二十二日現在 一五八団体中一四三団体、九十五%
- ③加盟促進活動
全民連ブロック大会、全国民俗芸能大会、全民連後援事業に出演した未加盟自治体に加盟依頼を行った。
- ④第六十三回全国民俗芸能大会
- ⑤第五十六回ブロック別民俗芸能大会
- ⑥平成二十六年度後援事業
- ⑦今後の予定事業

二 平成二十七年総会開催について

平成二十七年総会(於東京都八丈町)についてのスケジュールを確認し、全民連から八丈町へ五十万円の支出を決定した。

議題のほか、東日本大震災で被害の大きかった自治体に会費の減免措置を、当面の間継続することを決定した。

市区町村民俗芸能文化財担当者様へ 全民連へぜひご加入ください

全国各地域の歴史・風土の中で育まれてきた民俗芸能は、日本人である私たちの「心のふるさと」であり、生活に密着した伝統的な文化です。しかし現在「後継者不足」「民俗芸能の意識の低下」など各地で様々な問題を抱えています。全民連は昭和五十一年の結成以来、この「心のふるさと」を喪失することのないように、民俗芸能に関する催しの協賛・後援活動をはじめ各種事業をおこなって、民俗芸能の保存振興のために努めています。ご当地の民俗芸能の振興・市区町村相互の情報の共有のためにもこの機会にぜひ全民連へのご加入をご検討ください。

加盟市区町村のコーナー 【島根県海士町(あまちょう)】

島根県隠岐諸島の1つ、中ノ島にある海士町は、本土から約60km、人口約2,300人の町です。車なら1時間で一周できる小さな島ですが、かつての火山活動でできた広い平地と豊かな湧水に恵まれて稲作が盛んで、食料を自給自足できる半農半漁の島です。歴史的には奈良時代から遠流の島であり、後鳥羽上皇など高貴な方々も流されているため、貴重な文化遺産が多く残っています。

中ノ島、西ノ島、知夫里(ちぶり)島の3島は隠岐諸島の中でも島前(どうぜん)と呼ばれ、民俗芸能としては「隠岐島前神楽」(県指定無形民俗文化財)が受け継がれています。島根県では出雲、石見、隠岐のそれぞれに個性ある神楽が伝承されていますが、中でも奏楽や歌のリズムが極めて独特なのが、この隠岐島前神楽です。

島前神楽の本質であり独自性を生んでいるのが、もともと娯楽ではなく主に「祈祷(きとう)」が目的だったということ。内容は雨乞いや病気平癒、豊漁などさまざまです。初めて観る人は舞う場所の狭さに驚きますが、これも祈祷の神楽ゆえ。個人宅の、ほんの畳2畳の空間でもいかにダイナミックに舞えるかで洗練を重ねてきた歴史があります。

猿田彦大神(さるとひこのおおかみ)が登場する「先祓(さきはらい)」から始まる「式三番の能」など、多様な演目があり、美しい手ぶり足ぶりで情感豊かなドラマが繰り広げられます。どこか呪術的なリズムのお囃子は、4分の2拍子と4分の3拍子が交互に繰り返されますが、この4分の3拍子は日本の伝統音楽には珍しく朝鮮半島に多いため、大陸との関係を示唆するとも考えられています。

また、隠岐の神楽では女性も登場することが許されており、巫女が重要な役割を演じる「注連(しめ)行事」はかつての託宣の名残です。明治に神懸りが禁止されてからは形式を留めるのみですが、今でも最も重要な行法とされています。

中世の頃から島前神楽を伝えてきたのは、社家(しゃけ)と呼ばれる人々です。社家とは、隠岐においては祈祷の神楽を専業とするプロの神楽師集団で、神職の一面もあります。明治の神社制度改変以降は一般の人も神楽を舞うようになりましたが、それ以前は門外不出で、島前では5つの社家が神楽を守っていました。代々続く社家のみが伝承してきた神楽であるため、里の人(一般の民)によるエンタテインメント化を免れて「祈り」という原始的な要素が色濃く残された、とも考えられます。5つの社家とは、西ノ島町の宇野家、秋月家、海士町の秋月家、駒月家、知夫村の石塚家ですが、現在も残るのは石塚家と海士の秋月家のみで、当主の石塚芳秀さんを中心とした隠岐島前神楽保存会が伝承にあたっています。

平成26年度は、国民文化祭(平成26年10月、秋田)、全国民俗芸能大会(同11月、東京)の招待を受けて公演を行いました。これからも、より多くの皆さまに隠岐島前神楽の魅力を知って頂ければと思います。



式三番「先祓」



注連行事

加盟市区町村のコーナー 【香川県三豊市(みとよし)】

三豊市は、香川県西部に位置し、平成18年に7つの町が対等合併をして誕生した全国的にも珍しい市です。三豊市の総面積は、222.71km²で、県の総面積の約12%を占めています。これは、大阪市の223.00km²とほぼ同じ面積です。人口は、約6万7千人。南は阿讃山脈で徳島県と、北はエーゲ海よりもはるかに美しい世界一の海と言われる瀬戸内海の、その中央部に当たる燧灘と備讃瀬戸に接しており、海から山までの変化に富んだ景観豊かな地形を形成しております。自然が豊かで美しいガーデンシティとも言えると思います。

このたび平成26年3月に、三豊市詫間町生里地区の「三寶荒神宮」で行われる「生里のモモテ」が国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。「生里のモモテ」は現存する頭屋帳によれば、安永3年(1774)から現在まで戦中を問わず中断無く存続されている、地域内最大の祭典行事です。

祭は「百々手作法」にのっとり、旧暦1月8日(に近い日曜日)に初寄り合い(会合)旧暦1月23日夜の護摩供養(神正院)、旧暦2月1日(に近い日曜日)に三寶荒神宮にて「五穀豊穰」「家内安全」「厄払い」「柿払い」「大漁祈願」などの弓射儀礼が行われる祈願祭です。

射手は小笠原古流(延期間901~923の藤原時代)発祥と言われる身を低くした、実践的な形の弓射儀礼で、祭前日は生里海岸で潮垢離(しおごり)により、身を清めた後、自治会員の見守りの中で練習が執り行われます。翌日祭典当日は、三寶荒神宮社前において、全国の神々への安全祈願、男女厄払い、新築・新造船を祝い、小笠原古流の弓を射ます。そして、昼の膳の後に伊勢音頭を踊る珍しい祭です。

また、「生里のモモテ」を継承する生里ももて祭保存会は、講習及び実技指導などを行うなど、後継者の育成に努め、その保存と伝承に尽力するとともに、公開行事を通じて広く一般に民俗芸能の普及と発展を図るなど、三豊市のみならず香川県の文化財保護に寄与した功績は多大であると言えます。

さて、無形民俗文化財として今回の指定は香川県内で3件目、昭和51年「綾子踊」、昭和52年「滝宮の念仏踊(ねんぶつおどり)」の指定以降、37年振りに三豊市の「生里のモモテ」が国の重要無形民俗文化財に指定されたことを心より喜ばしく感じています。また、弓射行事として国の指定を受けるのは初めてのことであり、大変誇らしく感じています。

地域の宝である文化財、特に無形民俗文化財を後世に継承していくためには保存会の取り組みはもちろん、地元住民の理解と協力が必要不可欠であることは言うまでもありません。今回の指定が地域の人々、ひいては三豊市全域の文化財保護への意識の活性化につながることを確信しています。

また、生里ももて祭をはじめ三豊市内で県・市の指定を受けている15の無形民俗文化財の保存会にとって、日々の活動の励みになるとともに、全国に「三豊市の『生里のモモテ』」として知られるきっかけになると期待しています。



射手による弓射の様



宰領人が踊る伊勢音

お知らせ

○総会開催地を募集します

平成二十八年年度以降の総会の開催地を引き続き募集しています。開催してもいい、検討してもいいとお考えの自治体様は是非ご一報ください。

電話 03(3579)2018

平成二十六年度
全民連共催・協賛・後援事業報告

【(財)日本青年館と共催】

第3回全国民俗芸能大会

11月22日(土) 日本青年館

【協賛】

第56回ブロック別民俗芸能大会

○北海道・東北ブロック

10月26日(日) 北海道小樽市

○関東ブロック大会

9月28日(日) 東京都板橋区

○近畿・東海・北陸ブロック

11月9日(日) 滋賀県甲賀市

○中国・四国ブロック

11月23日(日) 鳥取県米子市

○九州ブロック

11月23日(日) 沖縄県読谷村

【後援】

○第53回北上・みちのく芸能まつり

8月1日(金)~3日(日)

岩手県北上市

○第16回全国こども民俗芸能大会

8月5日(火)6日(水)

日本青年館

○三遠南信ふるさと歌舞伎交流

浜松・佐久大会

11月30日(日) 静岡県浜松市

○第26回民俗芸能と農村生活を

考える会

2月7日(土) 東京都千代田区